

令和2（2020）年度 学校評価報告書

豊能町立東能勢小学校

【本文中の%数値について】

◇各項目の本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。

◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。

学校評価 I

① 設定目標 【ねらい】	自尊感情を高め合う集団を育成する。 【情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受け止め、教育活動に反映させる。
② 本年度の 取り組み	○学校教育自己診断による自己評価の実施 ○学校協議会による学校評価の実施 ○学校だより, 保健だより, 学級通信, 図書だより ○よくわかる! 東能勢小学校の配布 ○参観授業 ○入学説明会 ○海洋学習, 修学旅行説明会 ○家庭訪問 ○学級懇談会 ○個人懇談 ○学年発表会 ○PTA 研修会 ○HP の運営 ○学校支援コーディネーターとの協働 ○PTA との協働 ○学校だよりの各自治会への配布
③ 学校教育自 己診断・授業 評価等定量 的評価及び 定性的自己 評価内容	◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (1)学校は、教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (7 6 % , 74% , 81%) < - % , - % , - % > << 8 9 % , 78% , 91% >> (4)学校は、保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 (8 2 % , 80% , 86%) < 8 7 % , 91% , 95% > << 8 4 % , 64% , 84% >> (10)学校は、子どものことで困った時、相談にのろうとしている。 (6 7 % , 78% , 83%) < 8 5 % , 79% , 85% > << 1 0 0 % , 93% , 100% >> コロナ禍ではあったが、本年度も、環境整備作業、登下校時の見守りなど、学校の教育活動において、保護者の方や地域の方のお力を借りることができた。更に、保護者・地域・学校が連携を図り、東地区の特色を生かした教育活動を進めていきたいと考える。通信やホームページ等を活用し、児童の活動状況や様子、ご協力くださっている方々の情報を積極的に発信していきたい。 (10)の項目において児童の評価は回復しているが、保護者の肯定的評価が低下していることを真摯に受け止めたい。教職員が丸となり教育活動に取り組み、児童一人一人と向き合う時間を大切にし、一層信頼関係を築いていきたい。そして、保護者が不安感を抱かぬよう、日ごろからの各家庭への連絡を大切に、丁寧な対応を心がけて保護者との信頼関係を築いていきたい。
④ 学校関係者 評価(学校協 議会等からの 提言)	保護者との信頼関係の構築は、年々難しくなってきたと感じている。特に今年は感染症予防措置のため数々の行事が中止や変更を余儀なくされ、保護者や地域との連携が一層保ち難い一年であった。相手の考えや思いを「聴く」ことで信頼のおける関係を築いてほしい。 厳しい状況の中、東地区の特性を生かした取り組みが実施され、大変良かったと思う。先の見えない状況での調整など、努力は例年にないものであったと思われる。それゆえ、保護者の評価につながらないのはとても残念である。 学校は、校内での様子をより一層、伝える努力や手段が必要だと思う。保護者の世代では、ホームページなど紙媒体以外の発信を積極的に活用することで解消できるのではないかと。 今年度は保護者対象の授業参観は、感染症予防対策を取りながら2回実施されたが、今後の小中一貫に向けて地域との関わりを考慮し、感染症が収束したら地域の方やスクールサポーターさんなど、もっと広い範囲で学校の様子を公開していく必要があるのではないだろうか。

学校評価Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】 ◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切に育てる。 ◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。 ◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成をめざす。 ◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○縦割り清掃 ○学級・班遊び ◆朝レク(◆は再掲) ◆社会見学 ◆学年発表会 ◆ミニ運動会(6年) ◆海洋学習 ◆修学旅行 ◆たてわりなかよタイム ○わくわくKID'S ○ミニ遊びの出店(1, 2年) ○地域探検 ○米作り ○昔遊び ○平和を考える会 ○専門部・クラブ活動 ○園小交流会 ○小中合同研修会 ○人権参観 ○学年別人権講演会 ○中学校給食・授業・クラブ体験 ○地域施設との交流 ◆学校だより ◆学級通信の発行 ○生活・いじめ・体罰アンケートの実施 ○地域の方からの聞き取り</p>
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の5項目である。 (2)子どもは、楽しく学校生活を送っている。 (85%, 87%, 91%) <75%, 75%, 80%> ≪85%, 50%, 75%≫ (3)学校は、児童が協力し合って取り組む機会を持ち、「つながり」を育てている。 (82%, 84%, 86%) <80%, 85%, 86%> ≪84%, 64%, 84%≫ (5)学校は、こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 (76%, 78%, 77%) <—%, —%, —%> ≪48%, 57%, 42%≫ (11)学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 (59%, 66%, 75%) <85%, 83%, 90%> ≪95%, 64%, 88%≫ (13)子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 (76%, 62%, 73%) <78%81%, 90%> ≪84%, 78%, 92%≫</p> <p>本年度はコロナ禍の中でも、「あいさつ運動」「募金活動」など、児童会の主体的な活動、「仲間づくり」や「子どもたちのつながり」が育まれるような取り組みを行ってきた。行事など自粛せざるを得なかったものが多かったが、人権的な学びとしてゲストティーチャーを招聘した機会は増えた。</p> <p>(11)の項目において、いじめがなくなることへの保護者の期待を痛いほど感じる。日常のトラブルはなかなか減少しない現状であるが、教職員はトラブルを解決するよう全体で取り組んできた。児童が安心して過ごせ、楽しい学校となるよう今後も指導していきたい。</p> <p>(5)の園小中連携については、さらに効果的な取り組みとなるよう、ねらいを明確にし、計画的・継続的に進めていきたい。</p>
<p>④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>児童同士のトラブルが減少してきているという報告から、先生方の個々の事象の解決に向けてのご努力がうかがえる。学校は、いじめについて話し合い理解を深める機会を設けるなど、「学校はいじめを認めない」、という強い姿勢を知らせ、啓発していくことも大切ではないか。</p> <p>東能勢小学校で力を入れて進めている“言葉力”の強化についてのお話があり、自分の気持ちを言葉で表すこと、対話や説得の必要性を強く感じた。小学校からではなく、未就学・未就園のころからの家庭内の環境や会話の大切さも重く、保幼小中のさらなる取り組みや連携が必要だと考える。</p>

学校評価Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○ティーム・ティーチングでの授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○自学自習の取り組み ○朝読書活動 ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○モジュール学習(朝国語、朝算数) ○修学旅行 ○各種社会見学 ○芸術鑑賞会 ○おととえ座公演 ○科学実験教室 ○おはなしの会 「ひまわり」○地域学習 ○授業スタンダード(学習ルール)の統一 ○授業力向上校内研修 ○校外での研修・研究活動への参加 ○町教委の学校訪問 ○校長・教頭による授業評価と指導</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授業 評価等定量 的評価及び 定性的自己 評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の3項目である。 (7)学校は、子どもたちの学力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (60%, 59%, 71%) <—%, —%, —%> ≪89%, 64%, 83%≫ (*算数の授業は、よくわかる。 <80%, 83%, 87%> (*国語の授業は、よくわかる。 <84%, 86%, 91%> (9)通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。 (74%, 77%, 85%) <84%, 83%, 89%> ≪84%, 71%, 92%≫ (12)学校は、学習や生活のきまりをしっかり指導している。 (77%, 75%, 84%) <89%, 91%, 95%> ≪79%, 64%, 91%≫ (7)の項目において、保護者の学力の向上に対する肯定的回答が低い。教職員の日々の取り組みについて伝えきれていないのではないかと推測される。今年度は「とよの授業スタンダード」に則った「教材の系統性を考えた単元計画」の研究に取り組み、授業改善を進めてきた。点数に直接結び付く学習も求められる現状はあるが、基本的な学力の定着には、学習環境が整うよう家庭との連携や協力が必要である。学習の内容や実態、テスト前の予告などを学級通信で知らせていきたい。学力の向上をめざして積み残しはしないことを徹底し、「直しをやりきらせること」や「九九の定着」、「テスト前の課題」、「既習事項の復習を授業の始めにすること」「朝算数」などの取り組みをしていく。また、子どもの実態も踏まえた、意欲的になる授業づくりをめざしたい。 (9)に関しては、新学習指導要領の実施に伴い、今年度より観点別評価となった。新しい学力観に対する評価について、ご理解いただけるよう説明を行っていきたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校協 議会等からの 提言)</p>	<p>評価方法の変更に伴い、保護者の理解度が今の所進んでいない様子である。 基礎的な学力の定着には、家庭での声掛けや見守りが重要だと思う。 児童の努力の結果や「とよの授業スタンダード」の取り組みが、家庭に伝わっていないと思われる。学校は、学力に関する分析結果や課題点、具体的な取り組みを発信し、保護者と協力して学力向上をめざして行ってほしい。 保護者は学習内容等について学級通信を情報源としているが、保護者との連携を強めるためにも学級通信を豊かなものとし、有効活用してほしい。</p>

学校評価Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>自尊感情を高め合う集団を育成する。 【心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切にし、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○朝レク ○ミニ運動会(6年生) ○ペースランニング記録会 ○町体力テスト「とよのチャレンジ」 ○非行防止教室 ○たてわりなかよしタイム ○歯科衛生士によるブラッシング指導 ○海洋学習 ○栄養教諭による食育授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者, 火災, 地震) ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メールサービス, 緊急メールの運営</p>
<p>③ 学校教育自 己診断・授業 評価等定量 的評価及び 定性的自己 評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 (6)学校は、子どもたちの安全確保に努めようとしている。 (68%, 81%, 86%) < 87%, 92%, 92% > ≪ 95%, 85%, 100% ≫ (8)学校は、子どもたちの体力を高めるために取り組んでいる。 (71%, 66%, 78%) < 76%, 83%, 86% > ≪ 61% 57%, 75% ≫</p> <p>(6)の項目について、感染症について教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」【日本赤十字社】を使い、児童の発達段階に配慮しながら取り組みを進めた。今後、状況が変化していく中でいつでもこの学習を振り返れるよう継続した取り組みとしていきたい。また来年度入学の1年生に関しても「3つの顔」の学習に取り組みたい。来年度も感染予防対策を継続して行い、保護者にも情報発信していきたい。</p> <p>登校班の在り方については、PTAと協議し、保護者主導で組織することになっている。今後はPTA、スクールサポーター等地域の方々との情報共有していきたい。</p> <p>(8)の項目について、今年は感染症の影響で行事を制限せざるを得ない状況があった。その中で「ミニ運動会」や「ペースランニング記録会」などの取り組みを創意工夫することができた。今後も計画的、継続的な体力向上を目指していきたい。また、体育の授業では、制限がある中で運動する楽しさやできた時の喜びを実感できるようにすることを意識して取り組んでいきたい。</p>
<p>④ 学校関係者 評価(学校協 議会等からの 提言)</p>	<p>新型コロナウイルスの「三つの顔」の話を伺い、学校や先生方の創意工夫が感じられ、そこから子どもたちが感じることをきちんと受け取っているように感じた。</p> <p>児童自身で作ったルール作りについても、児童が自ら考え実行していく力を育てていることは大いに評価に値する。達成感を体験して自信を持つこと高い自己評価につながると思う。</p>